

経営改善のための6つの今後の取り組み

1 広域連携の取り組みの推進

与謝野町単独では対応できない課題は、京都府北部地区の水道事業者で連携して課題解決に向けた取り組みを行います。電力などの共同入札、委託業務などの共同発注、事務の共同化、施設の共同化などについて検討しています。他の事業者間では、電力の共同入札などがすでに実施されており、メリットが見込める分野は、積極的に連携して取り組みます。

3 定期的な料金水準の検討

経営戦略や資産管理を定期的に更新し、上下水道審議会において経営状況に応じた料金水準の検証をおおむね5年ごとに行います。

5 下水道計画排水区域の見直し

開発計画が中止になった区域など水洗化が見込めない地域を除外し、投資の抑制を図ります。

2 官民連携の取り組みの推進

経営の合理化や人員の有効活用のため、窓口業務、開閉栓業務、料金収納業務、滞納整理業務、検針業務などの定型業務の民間委託を検討します。定型業務を民間委託することにより、人材の有効活用を図り浄水場の維持管理、水質の管理、水道管の維持管理、水道施設の建設改良、水道事業経営は技術継承を行いながら、今までどおり与謝野町が行います。

4 施設の耐震化など

耐震化計画に基づいて計画的に施設の耐震化を進めます。老朽施設については統廃合を検討し、効率的な運営を目指します。

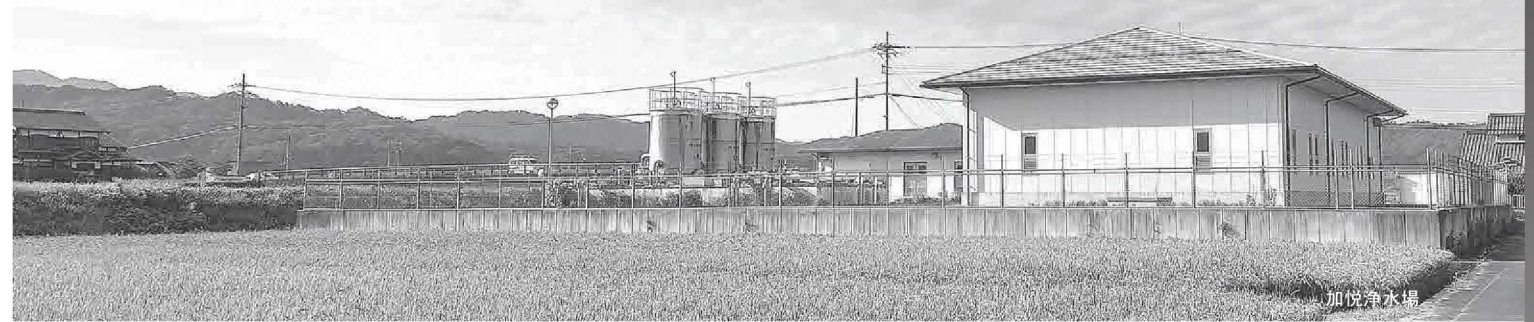
6 下水道使用料の料金改定

上下水道審議会(右記QRコード)の答申に基づき、下水道使用料の料金改定を行います。



町公式HP

2カ月に渡り、生活や事業に欠かすことのできない与謝野町の水道と下水道についてお知らせしてきました。水道は「施設の耐震化」、下水道は「財政状況」の課題を抱えながら事業継続を目指していますが、抱える課題はこれだけではありません。最終回となる今月号では、経営改善のために進めてきた取り組みや今後の取り組みについてお知らせします。

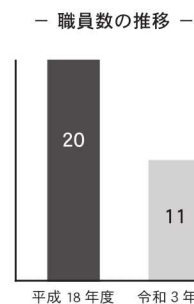


加悦浄水場

経営改善のためのこれまでの主な3つの取り組み

1 組織体制の見直し

合併時は水道課と下水道課でしたが、平成28年度の機構改革により上下水道課となり、2課4係から1課2係となっています。合併時と比較して、水道で4人、下水道で5人の合計9人、約50%の職員を削減しています。



2 水道施設の統廃合・改良

水道施設の耐震化や効率化のために、老朽化した浄水場や配水池の統廃合や新設移転・改良工事を行いました。

加悦浄水場の新設	⇒	加悦・加悦奥・温江・明石浄水場の廃止
石田浄水場の廃止	⇒	男山浄水場に統合
幾地水源の廃止	⇒	四辻浄水場に統合
四辻浄水場・配水池	⇒	新設移転し更新
三河内浄水場・配水池	⇒	新設移転し更新
男山浄水場	⇒	急速ろ過機増設
町内全水道施設(浄水場・配水池など)	⇒	遠隔監視設備の整備
水道管の新設・更新	⇒	緊急連絡管、岩屋川線新設、岩滝地内配水管更新・新設、加悦地域統廃合事業 など

3 上下水道料金の改定

平成29年6月に平均改定率、水道料金5.6%、下水道使用料15%の料金改定を行い、現行の料金となっています。

※ 下表参照

【参考】上下水道料金の状況 — 京都府北部5市2町の上下水道料金比較 —

与謝野町の水道料金と下水道使用料は、丹後地域では最も安価です。

(金額は税抜き、単位：円)

	与謝野町	宮津市	京丹後市	伊根町	福知山市	舞鶴市	綾部市
水道料金	3,149	3,503	3,420	3,250	3,065	2,790	3,800
下水道使用料	2,686	2,856	2,905	3,181	2,420	2,786	2,500
合計	5,835	6,359	6,325	6,431	5,485	5,576	6,300

※ 口径13mm、月の使用水量20㎡の料金比較

《水道編》おしえて、こんなときどうするの？

水垢(スケール)とは？

主成分は、カルシウムなどの硬度成分やケイ素などのミネラル分です。水の中に溶けていたものが水が蒸発することで、ポットの内面などに付着します。固くて簡単には取り除けません。

水垢(スケール)が付着したとき

ポットなどに付着した水垢は、市販の『クエン酸』を使って取り除くことができます。また、お風呂に付着したものは、お風呂用の『酸性洗剤』で除去できますが、使用の際は、洗剤の注意事項を守って事故のないように注意してください。特に塩素系の洗剤やカビ取り剤は、絶対に混ぜたり一緒に使用しないようにしてください。

水垢は、一度付着すると取り除くのに一苦労します。乾くまでにふき取ることで、水垢の付着が予防できます。



男山水源地

水道からカビ臭がするとき

与謝野町の水道水の約60%は、河川や水源地の表流水から取水しています。沼や川などで繁殖する植物プランクトンの中には、カビ臭の原因物質を作り出すものがあり、水温の上昇などによって大量に繁殖した場合など、カビ臭の原因物質が大量に作られます。通常の処理では、処理できなくなることがあり、水道水からカビ臭がすることがあります。カビ臭の原因物質が測定された場合は、浄水場で活性炭を投入するなどの処理を追加しています。